

---

# World of Fantasy 改訂版

K\_Sayuto

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

World of Fantasy 改訂版

### 【Nコード】

N7775Y

### 【作者名】

K | Sayuto

### 【あらすじ】

謎の大量失踪事件

その背景にあるものとは？

地球と異世界、敵と味方、疑いと信頼。それぞれの思いを載せたFantasyが動き出す。

## ブローグ

―友人の失踪―

それまではただそれだけの事件であった。

―さらなる失踪―

そこで、何か集団的な組織が動いているのでは？と言う噂が流れるようになった。

―共通点―

失踪した人たちの共通点が見つかった。だがそれはとても信じ難い事だった。皆があるオンラインゲームやっていた、ただそれだけの事だった。

「なあなあ、あの噂聞いたかかみにゃん」

下校途中と思しき二人の制服に身を包んだ男が歩いていて片方が先に口を開いた。

「えー、しらない」

「ほらあの失踪事件だよ」

「あー、あれかあ。あれがどうしたのお？」

「俺たちもやって見ない？」

「いいんじゃない」

「おっしや、じゃあ帰ったらすぐスカ プ繋いでくれよな」

そしてY字路で別れた。

## 登場人物

シヨウ - 伊志井 将いしい しやう

今作の主人公、高校一年生。玲奈の事が好きだが告白などした事はない。オカルトや魔術が好きだったので魔法関連のジョブに就いたりする。

かみにゃん - 桂峰 神紅かつらみね しんく

シヨウの親友、同じく高校一年生。剣術には心得があつたのでLVがあまり関係のないWOF内では相当な強さをほこる。

ティア - 桜ヶ丘 知さくらがおかし ち

いわゆるネカマだったのだが、WOFの世界に入ってしまった、使っていたロリキャラになってしまった。

ユーキ - 佐藤 勇季さとう ゆうき

シヨウの友達、同じく高校一年生。

レーナ - 阿久津 玲奈あくつ れな

シヨウの友達、同じく高校一年生。実はレーナもシヨウの事を思っていたり。

## 第一話 パーティー結成

その時はまだ信じられなかった。Lvが5に達した時に俺が持っていたはずのマウスは杖に変わり制服はローブに変わりPCの画面に広がっていた世界は今自分の周りに広がっている。

「は？」

第一声はそれであつた。

「やれやれ本当にこんな事になるなんてなあ」

容姿は確かに変わっていたが頭の上に表示されたキャラネームは『かみにゃん』だった。

「かみ・・・にゃん？」

「おつ、シヨウ」

と不意に後ろから誰かの叫び声が聞こえた。

「な、なんじゃこりゃー」

その声は幼げなソプラノボイスだった。声の主を見ると先ほど出会って一緒にいた幼じ、げふんげふん、小さな女の子がいた。

「ティアさーん？」

暫くその女の子は放心しんしていた。しかし、突然はつと意識が戻もどっ

たよつで急にこんな事を言い始めた。

「こんな幼女じゃハーレムなんて作れねえーよー」

そこで俺は気がついた。

「あのーティアさんはもしかして中身男ですか？」

「えっ、いやそんな事ありませんよ。お、わ、私は中の人も女ですよ」

「今俺っていおうとしてたよねかみにゃん？」

俺が問いかけると。

「そうだなあーシヨウ」

そこでティアは認めたのか。

「あーそうだよネカマだよ今じゃ男の娘だよ悪かったかー」

「まあ、いいんじゃないのか？」

とかみにゃんが言うので俺も肯定しておいた。

「そ、そうだななら女のアレが好き放題触れるじゃんか」

そう言っつてティアは胸に手を当てるがそこは断崖絶壁が広がっていた。

「そ、そんな。うそだあー」

「とりあえず、ティアとかみにゃん一目につかないとこに行こう」

「んー、僕も賛成」

ティアはまた放心していた。俺たちは急いで一目につかないところへ逃げ込んだそこは小さな洞窟だった。

「ん、あの奥にいる人誰だろ？」

かみにゃんが気がつき俺も気がついた。とりあえずティアはそこらへんにおいておいた。

少しずつ近付いて行くと、その人の頭の上にあるキャラネームが見えた。

「『ユーキ』ってまさかあのユーキ？」

そこまで俺が言ったところで、後ろから誰かの声が聞こえた。

「さあ、追い詰めたわよさあさつさと降参しなさい」

と女の人が入ってくるがこつちを見て驚愕きょうがくした。

「え、シヨウとかみにゃんってまさか？」

「だ、誰だッ！」

俺が叫ぶと、その人は答えた。



「私だよ阿久津 玲奈だよ」

「れっ、玲奈さんー？」

俺が驚きの声を上げるとユーキが目を覚ました。

「いてて、わりい取り逃がした。ん、こいつらは？」

「名前見て気がつかないかなあ？」

「ああ、お前らもか。悪いけど肩かしてくれないかショウ」

「ああ、お前やつぱ勇季か？」

「そーだ、そーだ、クリームソーダ」

「・・・、多分今ので体感温度5度くらい下がったかな？」

「そう言えば、そのティアってひとはどなた？」

そう聞いた時、ティアは焦っていた。しょうがない、助け舟を出してやるか。

「えつとな、こいつは先ほど出会った女の子だ。どうやら何かの事故で記憶を失ったらしいんだ。だから今はなんもわからないからレーナさんから教えてやつてくれないかなあ？」

俺がそう言っているとティアは小声で

「何でそんな設定なんだよ」

「そっちの方がいいだろ、過去とかいろいろ詮索されずに済むし第一、お前は元男なんだから女の子の事を知らないんだからそれを隠すためでもある、後これからは男口調を絶対使っな」

そう言っただけ俺たちがコソコソ話していたのを見たレーナさんは口を開いた。

「なーに、コソコソやってんだかまあいいけど。ところで、一応聞いておくけど、これから私たち仲間になるのよね？」

「まあ、そりゃ一緒の方が安全だろうしねえー」

今まで黙っていたかみにゃんが話す。

「でも、幸いな事にこの世界はLvはあまり関係ないから装備と個々の能力、それにジョブとコンビネーションさえしっかりしてれば何とかなる。っと、もう大丈夫だ一人で立てる」

「えーと、とりあえずみんなのジョブをまずは聞いておかなくちやだね。私は魔銃士でユーキは魔法戦士だよシヨウ達は？」

「俺は、とりあえずは治療師でかみにゃんはサムライでティアは……なに？」

「えっと、お、私は……何だろう？」

「ポケットに携帯入ってない？この世界ではどうやら携帯がウィンドウの代わりになってるから」

「あつ、ほんとだ」

ティアがポケットから出した手に握られていたのはスマートフォンだった、いわゆるスマホだね。

「ええと、きり……さき……し、霧裂師<sup>ぶれつし</sup>だ！」

「!!!!」

「嘘だろ、霧裂師ってスーパーレアジョブで100億人に1人出るかどうかってジョブだろ」

「そう言えばユーキとレーナさんはこの世界に詳しいみたいだけどうして？」

「ああ、それはだな」

「いい、私から話す。この世界はWOFとほぼ同じ世界、というかほとんどの事が全く一緒なんだけど少し違う世界なの」

なるほど、それでさっきまでいろいろ知ってるような口ぶりだったのか。

「じゃあ、俺たちが持つてる知識でもある程度はもう通用するって訳か」

「そうそう、それで……。続きは宿屋でしましょう」

そうレーナさんが言った後に当たりを見渡すとティアとかみにや

んは寝ていた、しかもかみにゃんは立ちながら。

「それもそうだな、ティアはレーナさんが頼む、シヨウはかみにゃんをたのむ」

そう言ってユーキはヨロヨロと立ち上がり歩いて行った。俺たちもその後を追いかける。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7775y/>

---

World of Fantasy 改訂版

2011年11月23日19時52分発行